

令和5年度 一関市立藤沢小学校 まなびフェスト



本校の子どもたちが、心身ともに健康で人間性豊かに育っていくためには、学校・家庭・地域が互いに連携し合っの指導や関わり合いが必要です。そのために、学校教育目標に基づき、3つの領域（知・徳・体）から具体的な目標を設定しました。ご理解とご協力をお願いいたします。

一関市立藤沢小学校

学校の教育目標	「明るい笑顔」と「学ぶよろこび」にあふれた学校		
	（知） 課題を追究する子ども	（徳） 思いやりの心をもつ子ども	（体） 体と心をきたえる子ども
つきたい力	基礎学力・表現力・主体性	コミュニケーション能力・共感力	生活習慣力・継続力
めざす児童の姿 （育てたい姿）	(1) 基礎学力が身についた児童 (2) 考えを積極的に表現する児童 (3) 学ぶ意欲をもち、友達と学び合う児童 	(1) 挨拶、返事ができる児童 (2) 自他を認め、支え合う児童 (3) 読書や表現活動に親しむ児童 	(1) 健康、安全に生活できる児童 (2) 目標をもち、体を鍛える児童 (3) 粘り強く最後までやり抜く児童 
学校の重点取組 （めざす児童の姿に近づけるため、重点的に取り組む内容）	《基礎学力定着のための指導の工夫》 (1)「読み・書き・計算」の徹底反復とことばの力を育てる活動の推進 ・朝活動において、百ます計算・音読に継続的に取り組みます。 ・昼活動において、補充指導・個別指導に計画的・組織的に取り組みます。 (2)基礎基本の定着と発展的学習の充実 ・短く明確な発問や指示を心がけ、テンポのよい授業をします。 ・タブレットを活用し、「個別最適な学び」を推進します。 (3)家庭学習習慣の形成と内容の充実 ・学年の目標時間とノーメディア学習の意識化を図ります。 ・宿題と自主学習のバランスを考慮した課題を出します。	《心を育む生徒指導と心の教育の充実》 (1)明るい挨拶が響き合い、いじめ予防に努める学校づくり ・明るい挨拶（会釈を含む）や返事の習慣化に取り組みます。 ・いじめ予防や早期発見、解決に組織的に対応していきます。 (2)豊かな心を育てる活動の推進 ・児童同士のつながりを大切にしたい縦割り班活動を実施します。 ・芸術（音楽）鑑賞教室を実施し、豊かな心を育てます。 (3)読書環境の充実と読書習慣の定着 ・読書を促す多様な環境づくりと学習への活用を図ります。 (4)特別支援教育の充実 ・適切なアセスメントとニーズに応じた支援をしていきます。 ・学校不適應の予防に努め、組織的に対応していきます。	《健やかな体を育む健康安全教育の充実》 (1)基本的生活習慣の確立 ・早寝・早起き・朝ごはんの習慣化を図ります。 ・ルールや時間を守ってメディア機器を使用する態度を養います。 (2)体力向上と運動習慣の確立 ・体力運動能力調査の結果分析、考察を体育指導に活かし、改善を図ります。 ・「ステップ2238（フジサワ）！」（校内での休み時間1日2238歩運動）による体力向上、肥満予防に取り組みます。 (3)主体的に考え判断できる力を育てる安全教育の推進 ・教科や行事と関連付けた防災、減災教育に取り組みます。
目標値とその検証 （成果を確かめる方法と具体的な目標値）	(1) 百ます計算目標タイム達成児童の割合 80% ・1年 たし算(30問) 4分 ・2年 かけ算(30問) 4分 ・3年 かけ算(100問) 4分 ・4年 わり算(100問) 4分 ・5年 あまりのあるわり算(60問) 4分 ・6年 あまりのあるわり算(80問) 4分 (2) CRT(標準学力検査)の正答率の対全国比の目標値 ・国語・算数ともに全国比100以上（全校平均） (3) 家庭学習強化週間達成児童割合の目標値 ・低学年90%、中学年85%、高学年80%以上	(1)「進んで挨拶ができている」児童の割合 85% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階） (2)「学校が楽しい」児童の割合 85% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階） (3) 学年の目標冊数達成児童の割合 80% ・読書冊数調査（年間目標 低70冊 中50冊 高30冊）	(1) 規則正しい生活習慣目標達成児童の割合 80% ・家庭学習強化週間に合わせて行う生活習慣アンケートの取組による。 (2)「ステップ2238(フジサワ)！」達成児童の割合 80% ・歩数計を着用した休み時間1日2238歩の取組による。
家庭教育への期待	① 家庭学習に集中して取り組めるよう、テレビなどを消して学習環境を整えましょう。 ② 家庭学習を見守り、頑張っていることを認め、励ましましょう。	③ 家族同士でもきちんと挨拶するようにしましょう。 ④ 家族の一員としての役割をもたせ取り組ませましょう。	⑤ 早寝・早起き・朝ご飯の習慣をつけましょう。 ⑥ スマホ・ゲーム使用の約束を決め、「居間8ルール」を意識して取り組みましょう。
地域の皆様の支え	○教育活動への理解や協力 ○登下校の見守り ○ゲストティーチャー等の学習支援 ○地域行事での交流 ○スポーツ少年団等のスポーツ活動や文化活動等の指導 ほか		